

|           |   |
|-----------|---|
| 事業会社      | Southland Plantation Forest Company of New Zealand Limited (SPFL) |
| プログラム名称   | 保護価値の高い絶滅危惧種の保護   |
| プログラム・タイプ | 生物多様性保全   |
| 実施国・地域    | ニュージーランド  |
| 連携・協働相手   |   |
| リンク先      | <a href="https://www.spfl.co.nz/">https://www.spfl.co.nz/</a>     |

#### 活動概要

SPFL社では、地元の生態学者等と協働し、絶滅危惧種の生息地、もしくは、生息する可能性のある地域を、保護価値の高い地域（FSC原則9条に合致）として特定しました。希少種の生息地は、伐採計画地図、GIS、及び、現場で、明確に区分し、保護しており、5年ごとに病害虫による被害が発生していないか、モニタリングと再評価を実施しています。

また、林地での事業活動の計画や実際の施業にあたっては、活動予定の区画で観察される希少種のリストを全スタッフに配布し、施業計画に注意事項を記載しています。このリストは、SPFL社のホームページにも掲載し、林地へ立ち入る場合の注意喚起を行っています。そして、新たな希少種が発見された場合は、その都度リストを更新し、施業計画に反映します。さらに、SPFL社の林地でよく観察される希少種であるNZハヤブサが、施業予定地で営巣しようとしている場合は、必要に応じて、施業を延期し、種の保全を図ります。



SPFL社植林地で観察されたNZハヤブサ